



Japanisch-Deutsche Gesellschaft

Die Brücke 架け橋

日独協会機関誌

Deutsche Spiele - Kreuzworträtsel

Rate mit!



Lösungswort:

Auch durch Spiele kann man viel
_____ lernen!

Horizontal

1. Wer gewinnt, ist der ____
3. Monopoly ist ein ____
5. Das macht man viel beim Spielen
7. sie bestimmen, wie gespielt wird
9. ein beliebtes Kartenspiel

Senkrecht

1. Spaßbremse am Spieletisch, verdirbt den Spaß
2. Gemeinschaftsgefühl im Spiel
4. Heimlich gegen Regeln verstoßen, tricksen
6. zwei gleiche Würfelzahlen
8. grübeln, um eine Lösung zu finden

2025 10

表紙の言葉

7月にドイツのゲームを楽しむイベント「Spielrunde」を開催したことを機に、会報誌でも何かドイツのゲームを紹介しようということになりました。ドイツの雑誌にはよくクロスワードパズルが掲載されています。そこで、研修生セルマさんが「ゲーム」をテーマにオリジナルのクロスワードを作成してくれました。ヒントの日本語訳は下記になります。縦横のヒントをもとに空欄の四角の中にドイツ語の単語をいれて、黒い四角に入った文字を繋ぎ合わせてみてください。どんな単語になるでしょうか？解答は本誌12ページに掲載しています。

横

1. 勝利する者は、_____です。
3. 「人生ゲーム」は_____です。
5. ゲームの時によくすることは？
7. 遊び方のルール
9. とても人気のあるカードゲーム

縦

1. 遊んでいる人たちの楽しい雰囲気をぶちこわす人
2. チームワーク
4. こっそりルール違反をしたり、ずるをすること
6. 2個のさいころに同じ目が出ること
8. 問題や謎を解くためにあれこれ考えること

クロスワード：セルマ・バーナート（日独協会研修生）
文：菊池 菜穂子（日独協会職員）

Zum Titelbild

Da wir im Juli mit der Veranstaltung „Spielrunde“ viel Spaß hatten, möchten wir auch gerne im Mitgliedsmagazin ein deutsches Spiel vorstellen. Da in vielen deutschen Magazinen ein Kreuzworträtsel zu finden ist, stellen wir dieses Mal ein originales Kreuzworträtsel als Titelbild dar, das von unserer ehemaligen Praktikantin Selma-san erstellt wurde. Das Thema dieses Kreuzworträtsels ist „Deutsche Spiele“. Füllen Sie anhand der horizontalen und vertikalen Hinweise die leeren Felder mit deutschen Wörtern aus und verbinden Sie die Buchstaben in den schwarzen Feldern. Welches Wort ergibt sich daraus? Die Lösung finden Sie auf Seite 12.

Kreuzworträtsel: Selma Bannert
(Praktikantin der JDG)
Text: Nahoko Kikuchi (Angestellte der JDG)

目次	ページ／Seite	INHALT
協会活動報告	1	JDG-Aktivitäten
特別寄稿1：メルツ政権の挑戦 柳 秀直	5	Beitrag 1: Die Herausforderungen der Regierung Merz Hidenao Yanagi
文化の玉手箱：エンデのファンタジーと日本書籍紹介「すばらしいクラシック音楽」 田中 洋森 宏之	6	Kulturkiste: Michael Endes Fantasie und Japan Hiroshi Tanaka
特別寄稿2：ドイツ統一35年——東西の溝と民主主義の将来 板橋 拓己	7	Eine Buchvorstellung : Ein Buch über faszinierende klassische Musik Hiroyuki Mori
ベルリナールフト：連邦政府のオープンデイ 2025 Dr. ヴェレーナ・マテルナ	8	Beitrag 2: 35 Jahre nach der deutschen Wiedervereinigung Die Ost-West-Teilung und die Zukunft der Demokratie Takumi Itabashi
万博のドイツナショナルデー ドイツ、こんなトコロにしてみた「マイセンのアリタ小学校」 河原 美奈子	9	Berliner Luft : Tag der offenen Tür der Bundesregierung 2025 Dr. Verena Materna
ドイツ経済の動き 第95回 伊崎 捷治	10	Deutscher Nationaltag auf der EXPO Deutschland, da und dort: Arita-Grundschule Meißen Kazuaki Yuoka Minako Kawahara
セルマモリ（研修生コラム） セルマ・バーナート	11	Tendenz der deutschen Wirtschaft (95) Shoji Isaki
日独協会への寄付金報告 キャリア形成セミナーご案内／クロスワードパズル答え	12	SELMAMORI Selma's Omamori Selma Bannert
お知らせ 事務局	13	Bericht über Spenden an die JDG Infos zum Seminar zur Karriereentwicklung／Lösungen zum Kreuzworträtsel Sekretariat der JDG

冠飾句これくしょん 一冠これードイツ語の「高級文法」を愛てる会

7/13(日) 13:00～16:00 日独協会セミナールーム（オンライン配信とのハイブリッド開催）

Attribut-Sammlung -Ein Treffen zum Genießen der fortgeschrittenen Grammatik der deutschen Sprache

Datum: So., 13. 7. 25, 13.00-16.00 Ort: Seminarraum der JDG (Hybridveranstaltung mit Online-Übertragung)

「冠飾句って、ドイツ語の中でも特に高級で、私の一番好きな文法」。ニーナ先生のこの言葉がきっかけで、今回このイベントへの参加を決めました。

とはいえ私はまだまだ、ドイツ語中級者を最近名乗り始めたばかり。冠飾句ほどハイレベルな文法に普段出会うことはないの、事前に冠飾句についての動画を見て予習してみました。するとどうやら冠飾句は、長い修飾語句が前に並んだ「大きな冠を被った名詞」のようなもの。そしてその語順が、どこことなく日本語の語順と似ているとのこと。「ドイツ人が日本語を学ぶ際にも冠飾句が役立つかしい」という説もあり、冠飾句に対してちょっとした親近感を覚えました。



冠飾句の奥深さを熟弁する講師たち

当日のイベントは、まずは冠飾句という文法の特徴、便利さ、難しさ等を、三人の先生方それぞれの視点から紹介していただきました。「冠飾句は、ドイツ語の文法ルールを細かく丁寧に理解して初めて使いこなせる。これこそが『高級文法』と呼ばれる所以。」この説明に深く納得しました。

その後、本や試験問題等の中で実際に使われている冠飾句を取り上げ、「ここの2格が分かりやすいですね」「こんなに美しい言い回し、ネイティブにもなかなか書けません」「この句、良い…。」などといった解説

や感想が炸裂。興奮のあまり立ち上がって熱弁する姿にはつられてこちらまで笑顔になりました。

参加者から寄せられた自作の冠飾句の中には、「おとぎ話を一文で表す冠飾句」や「このイベント自体を自己言及的に表した冠飾句」といったユニークすぎるものもあり、まさに“味わう”時間でした。

そして何より、このイベントを通して再確認したのは、「同じ状況を説明するにしても、文法が違えば文章全体の印象が変わる」ということです。言葉を発した人の意図を捉えることができると、学びはもっと楽しくなると感じました。これからもっと勉強を続けて、ドイツ語のさらなる深みにはまっていきたいと思います！

田村 春佳（参加者）

Spielrunde ～ゲームもドイツ語も楽しんじゃおう！～

7/18(金) 18:30～20:30 日独協会セミナールーム

Spielrunde

Datum: Fr., 18. 7. 25, 18.30-20.30 Ort: Seminarraum der JDG

当協会のドイツ語講師であり、フリーランスドイツ語講師、YouTuberとしても活躍中のニーナ先生からのご提案で、先生の一時帰国中にゲームイベントを行うことになり、先生と研修生のセルマさんが、ドイツ語を使って楽しめるゲームを準備してくださいました。当日はドイツ語母語話者を含む約20名が集まりました。参加者はいくつかのチームに分かれて、まずはチーム内で自己紹介。自己紹介も「Wer bin ich?」という推理ゲームと共に行われました。それぞれカードを持ち、そのカードに書かれたモノについてドイツ語の短い説明文をいくつか読み、他の人がそれを当てます。この推理ゲームを通じて、すぐに会場内は和気あたたかとした雰囲気になりました。



ゲームの前に乾杯！

次からはチーム対抗のゲームとなりました。最初に行われたのが「Stadt, Land, Fluss（街、国、川）」というゲームです。指定されたアルファベットから始まる、街、国、川、食べ物、スポーツ、色などのドイツ語の名前を時間内に考えて発表し、他のチームと違う名前を出せば高得点を取ることができます。お題が「Hではじまる」であれば、街 Hannover、国 Honduras、仕事 Handarbeiter のように回答を考えます。アイデアに詰まってもクリエイティブな発想が飛び出したり、皆さん勝利のために知恵を絞っていました。

その後は「Galgemännchen（首吊り男）」というゲームをしました。出題チームがある単語を考えて、「____」というようにマスだけをホワイトボードに書きます。他のチームがその単語の中にはいつているであろうアルファベットを言い、その文字が入っていたら、その部分のマスに文字が書かれます。もしその文字が入っていなかったら、首吊り男の絵が一筆ずつ書かれてしまいます。絵が完成する前に単語を当てなくてはならないゲームです。どのチームも他のチームに当てにくい単語を出題し、ラテン語由来の Mythos や比較級の形容詞 größer などはなかなか当てられませんでした。そして Müsli という単語で首吊り男が完成してしまいました。

最後に、すべてのゲームを通じて一番点数を稼いだチームにニーナ先生からプレゼントが渡されました。いつの間にかゲームに夢中になって、自然と新しい単語に触れたり、自分の知識を振り絞って考えたりドイツ語に楽しく触れたあつという間の2時間でした。ニーナ先生、セルマさん、ご参加の皆さん、楽しい時間をありがとうございました！

菊池 菜穂子（日独協会職員）

ドイツ語圏文化セミナー 172

ブーチン、ネタニヤフ、トランプ、どうするメルツ!? 混迷する国際情勢の中のドイツ外交とその社会的余波
—報道とデータでみる最近の政治・社会情勢 5—

7/25、8/8(金) 19:00～21:00 オンライン開催

Kulturseminar 172: Aktuelle politische und gesellschaftliche Lage anhand von Medienberichten und Daten (5)

Datum: Fr., 25. 7. und 8. 8. 25, 19.00-21.00

この講演は高島亜紗子先生（(公財) 日本国際問題研究所研究員）と小野竜史先生（慶應義塾大学法学部専任講師）のお二人による大変キャッチーなタイトルで、2回に分けて行われた。

7/25の回では、ウクライナ情勢を受けてEU諸国が防衛力増強に動かなかでの、メルツ政権と世論動向が紹介された。ショルツ政権の終わりに基本法を改正して債務ブレーキをはずしたことで、GDPの3.5%までへの防衛費増額が可能となったが、6月のNATO首脳会議ではこれを更に5%に引き上げる目標合意がなされた。2029年までに連邦軍を戦争可能（Kriegstüchtig）にする、としているピストリウス国防相（SPD）は人気が高く、兵士募集強化策を提唱。案では18～24歳の男女に兵役意思のアンケートを出し（男性には回答義務あり）、意思のある者の中から軍に召集するもので、世論調査では解答者の62%が兵役を支持している。なお、セミナー直後には、2028年に18歳男性に徴兵検査を受ける義務を復活させる法案を提出すると国防省が発表した。防衛力強化を具体的に推進するメルツ政権の動向が注目される。

8/8の回では、人道危機に対するイスラエル批判と反ユダヤ主義との線引きが難しい中でのメルツ政権の微妙なスタンスの変化が紹介された。ドイツは第二次大戦後のルクセンブルク協定と付随する武器輸出に関する秘密協定でイスラエル支持を基本姿勢とし、メルケル以降はイスラエル国家の持続がドイツの国是（Staatsräson）であるともしてきた。そうした中では、ガザの人道危機状況は問題であるとしながらもイスラエルを直接的には非難できないという政権の苦境についての説明があった。しかし、セミナー当日にメルツ政権はついに、ガザで使われる恐れのある軍事装備品のイスラエルに対する武器輸出を当面停止することを発表した。

今回のセミナーは時宜を得て本質をついた内容で、会員の熱心な発言や、ドイツ在住の方の肌感覚の状況説明もあり、大変意義深いものだった。

小泉 哲哉（日独協会監事）

獨協大学で開催された「ドイツフェス」に参加して

8/2(土) 10:00～16:00

Teilnahme am „Deutschlandfest“ der Universität Dokkyo

Datum: Sa., 2. 8. 25, 10.00-16.00

昨年の獨協大学創立60周年を記念した「ドイツフェス」に続き、今年も「DOKKYO ドイツフェス 2025」が8月2日（土）に開催され、日独協会も活動紹介を目的として参加しました。当日は、ドイツ連邦共和国大使館、ドイツ観光局、ドイツ学術交流会（DAAD）、ゲーテ・インスティトゥート東京などの協力団体も展示ブースを出展し、「日本とドイツをつなぐ一日」として盛況のうちに幕を閉じました。

プログラムでは、「外国語を学ぶことは楽しい」「字幕で味わうドイツ映画」「世界はこうして展示された」などの講演のほか、トークセッション「『好き』がつなぐドイツ～ドイツ×留学×生活＝？～」が行われ、日独協会ドイツ語講師のニーナさんも登壇しました。また、獨協中学・高校、獨協埼玉中高、埼玉県立伊奈学園のドイツ語教育に関するパネル展示もあり、ドイツ語学習の広がりを感じる内容となっていました。飲食エリアでは、ドイツビールやワイン、ドイツ料理や菓子の販売が行われ、いずれも早々に完売するほどの人気ぶりでした。



協会ブースを訪れた方とお話する研修生のセルマさん

日独協会のブースでは、協会のパンフレットや機関紙『Die Brücke』、ドイツ語講座の案内を設置し、広報活動に努めました。また、日独共同制作の漫画作品も展示し、現役大学生のほか、卒業生や近隣にお住まいのご家族など、昨年を上回る多くの方々にご来場いただきました。

イベントの終了間際には、前沢浩子獨協大学学長のご案内により、山川百合子草加市長にもお立ち寄りいただき、歓談の機会を得ることができ、大変有意義な一日となりました。さらに、獨協大学より、図書館にて『Die Brücke』を継続的に配架し、より多くの学生に広報を図る旨のご提案を頂戴いたしました。今回のフェスティバルは大変好評で、大学側からは来年の開催にも意欲が示されており、次回もぜひ参加・協力させていただきたく存じます。

木田 宏海（日独協会理事）

慣用句に登場する動物たち～ Aus einer Mücke ein Event machen?!

8/7 (木) 15:00～17:00 日独協会セミナールーム

Tiere in Redewendungen Aus einer Mücke ein Event machen?!

Datum: Do., 7. 8. 25, 15.00-17.00 Ort: Seminarraum der JDG

ドイツ語の勉強を始めて2年になりますが、だんだんと覚えなければいけない単語や慣用句が増えてきて、勉強に取り組むハードルが上がってきました。そんなとき、「慣用句に登場する動物たち」という講座が開催されることを知り、楽しくモチベーションアップにつながれば良いなと思い、参加させていただきました。

こちらの講座は、ただ単に動物関連の慣用句について説明がされるだけでなく、クイズ形式で進められました。日本語の意味から、ドイツ語ではどのような動物を用いてどのように慣用句として表現されるかを推測したり、ドイツ語の穴埋め形式で、どの動物が答えかを考えたりしました。

自分ならどの動物でその意味を表現するだろう？と一度自分で考えることによって、自然と頭に動物のイメージが残り、慣用句として覚えることができました。ドイツ語の言い回しを知るだけでなく、動物に対する万国共通のイメージや、慣用句の成り立ちからドイツの人々の生活の歴史など文化的な側面を垣間見ることができたのも興味深く、外国語を学ぶ面白さはこういうところにあるのだと改めて気づかされました。本筋とは関係ありませんが、その慣用句にまつわるドイツの流行曲や、童話など小ネタの紹介もあったため、講座後にもドイツにまつわることを自分で調べる時間が持てました。また、こちらの講座では全員に発言の機会が設けられており、皆が積極的に講座に参加できるように工夫されていました。先生のセルマさん自身がとても気さくで話しやすい雰囲気のため、皆さん思い思いにセルマさんとのやり取りを楽しんでいたのが印象的です。



講師を務めたセルマさん

最後に、この講座に参加して良かったのは、単語を真剣に意気込んで覚えるよりも、イメージをもって文章で覚えるのがどれだけ効果的か気づけたことです。ドイツ語を学ぶ期間が長くなるにつれて、楽しみながら勉強することを忘れていました。セルマさん、素晴らしい授業をありがとうございました。

服部 杏奈 (日独協会会員)



ドイツの慣用句を楽しく学びます！

ドイツ語圏文化セミナー 173**ちょっとした意識改革と勇気で、あなたの「コミュバ」は劇的に上がる。ードイツ的コミュニケーションのすゝめー**

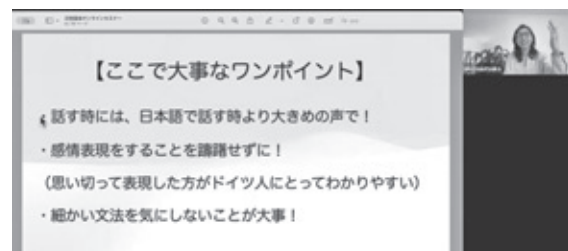
8/9 (土) 15:00～17:00

Tipps für die Kommunikation in Deutschland

Datum: Do., 7. 8. 25, 15.00-17.00

『9割捨てて成果と自由を手に入れるドイツ人の時間の使い方』の著者であり、「あつこ German info-channel」で、ドイツ情報を発信なさっている You Tuber でもいらっしゃる、株式会社ダヴィンチインターナショナル代表の松居温子さんによる、楽しいセミナーでした。松居先生の明るく気さくなお話ぶりに、和やかな雰囲気が進みました。

「ついつい言ってしまう惜しい一言⇒こう表現するとネイティブ表現に」では、11の状況設定で、ちょっとした受け答えでも、一味違う表現方法を教えて頂くことができましたし、相手を不快にさせない言い方もご紹介頂きました。例えば、Bitte は、お礼への返事にも、お願いにも、聞き直す際にも、万能のように使いがちですが、年代、地域、状況によっても違った表現があることを知り、Danke に対する返事としては、Gern geschehen が最も無難であることや、Wie bitte? は、場合によっては、「ちゃんと聞いてなかったの？」や、「今までの話、全部もう一度話してって言うの!？」と思わせてしまうということもわかりました。Wie meinen Sie das genau? と聞いたり、相手が使った○○という表現を使って、「○○をもう少し詳しく説明してほしい」、と伝えたりすれば、相手に不快な思いをさせずに済み、こちらの理解も深まる、とのことで、なるほど…の連続でした。また、Alles klar! は、「理解した」という意味ですが、「異議なし」の表明なので、完全同意できない時には使わないということも知ることができました。



松居先生からのワンポイントアドバイス！

その他、呼びかけ方、褒められた時に返す一言も、こなれた表現を教えて頂くことができました。また、ドイツ人のストレートな言い方も、実はどういう意味なのか、がわかり、ショックを受けなくてよいということもわかりました。

色々な表現方法を教えて頂きましたが、基本的な姿勢として、話す時には、細かい文法を気にせず、大きめの声で、感情表現を躊躇せずに、思い切って表現することが、「コミュバ」を上げるのに大事！ということでした。今後、生かしたいと思います。

原田 ひろみ (日独協会会員)

ドイツ語講習会 2025 年度上半期コース

月～日曜日

Deutschkurse in der JDG, April - September 2025
jeden Mo.-So.**ドイツ時事問題研究会**

7/19 (土) 15:00 ~ 17:00

Studiengruppe “Deutschland aktuell” (113)

Datum: Sa., 19.7. 25, 15.00-17.00

今月の主なトピックスは、①連邦行政裁判所が連邦内務省による極右誌“Compact”の禁止を解除、②連邦議会が経済対策「成長パッケージ」を可決、③労使で構成する最低賃金委員会が2段階の引き上げを勧告、④混迷する連邦憲法裁判所裁判官の指名問題、⑤フォルクスワーゲン社の上半期世界販売台数が電気自動車を軸に前年同期比1.3%増の440万台などについて、背景要因などを含めて報告し、質疑応答を行った。

「今月のテーマ」は「所得格差、貧困率」で、貧困率の定義、ドイツの相対的貧困率は日本を大幅に下回っているが、2024年にやや上昇したことなどについて新井世話人から報告し、ここ10年ほどは避難民の増加が貧困率の上昇の要因になっている可能性について意見交換を行った。

もう一つのテーマでは2025年連邦予算案を取りあげ、交通、教育、住宅などインフラ投資および国防費に重点が置かれ、夏休み明けから国会審議が予定されていることなどについて伊崎から説明した。
(伊崎 捷治)

シュプラッハトレフ (日独言語交流会)

7/19 (土) 19:00 ~ 20:40

Sprachtreff

Datum: Sa., 19. 7. 25, 19.00-20.40

皆さん、夜に爪を切るでしょうか？四葉のクローバー見つけたことありますか？

今回の Sprachtreff のテーマは「縁起物と縁起が悪いもの」でしたので、参加者の皆さんがドイツと日本のいろいろな迷信を紹介して、運、不運や運命についても話しました。ドイツ人は、縁起の良い物といえば豚やテントウ虫を思い浮かべることが多いですが、日本人はどちらかというと招き猫を思い浮かべることが多いです。ですので、今回の Sprachtreff では語彙を増やすだけでなく、ドイツと日本の文化的な違いについても多く学ぶことができました。皆さんはどうでしょうか—運命を信じていますか？

最近、日本だけでなくドイツでも非常に暑い日々が続いているので、参加者の皆さんがどのように夏を過ごしているかについてのおすすめも欠かせないということで、2つ目のテーマは「夏の過ごし方」としました。

夏にどんな食べ物を楽しむか、またはどのような旅行をするのが好きかといった内容について、さまざまな意見交換がありました。次回の Sprachtreff は夏休み明けの9月になるので、今回は特に参加者に8月の夏の予定を聞くことができました。

Schöne Sommerferien, bis zum nächsten Mal!

(セルマ・バーナート)

独逸塾

7/21 (月) 19:00 ~ 21:00

Gesprächskreis: Neuigkeiten aus Deutschland

Datum: Mo., 21. 7. 25, 19.00-21.00

参加人数 18 名

1. テキストは2025年3月3日 Süddeutsche Zeitung の記事 „Urlaub ist unverzichtbar - auch in Krisenzeiten“ より経済危機やインフレが続く中、ドイツ人が旅行を生活に不可欠なものとしてとらえ、休暇を削らず過去最高の支出を記録している実態が報じられている。昨年の旅行者のうち、海外に行ったのは76%の5200万人、国内旅行は1600万人であった。

2. テキストは2025年5月31日の Spiegel 誌の記事 „Jagt auf die Super-Maschine“

量子コンピューターは従来型コンピューターの限界を超えるスーパーマシーンとして、経済や産業に革命をもたらす潜在能力を有している。特に暗号解読、金融、市場予測などの高度な計算分野では、量子優位性の実現はもはや時間の問題である。

この技術革新の背景には、Google や IBM、スタートアップ企業による量子ビット（キュービット）の安定化、スケーリングの熾烈な競争が存在する。シリコンバレーではスーパーコンピューター並みのハードウェア構築に向けた投資が加速し、量子状態の崩壊への対策やエラー訂正の技術の進化が進められている。一方ドイツを含む欧州でも、各国家レベルで量子技術研究に巨額の公共資金を投入。特にドイツの企業研究機関では、製造業や自動車産業への量子コンピューティング応用を視野に、国際競争力強化を目指している。しかし一方で実用的な量子の優位性の実現時期には楽観論と慎重論が拮抗している。ドイツ語の表現の解釈をめぐる活発な議論があった。

(森永 成一郎)

懇談会サロン「今アーレントから読むことの意味」

7/28 (月) 18:00 ~ 19:30

Gesprächssalon „Was es heute bedeutet, Arendt zu lesen“

Datum: Mo., 28. 7. 25, 18.00-19.30

講師：矢野 久美子先生（フェリス女学院大学国際交流学部国際交流学科教授）

参加者 14 名。ハンナ・アーレント研究の歴史的背景、著作の翻訳状況、現代社会における彼女の思想の意義、難民問題・全体主義・民主主義の危機、そして「理解」や「和解」といった概念など、多岐にわたるテーマについてお話を伺った。

参加者からは、和解のドイツ語表現、難民問題、悪の凡庸さ、現代社会と AI、各国におけるアーレントの評価、宗教観などについて活発な議論が行われた。

ハンナ・アーレントの思想は、ポピュリズム、虚偽情報の拡散、政治不信といった現代の政治的混乱を考える上での手がかりとなり、多くの示唆を得ることができた。
(木田 宏海)

※会場が書かれていないイベントはオンラインで開催されました。

日独協会への寄付金報告

Bericht über Spenden an die JDG

下記の方々よりご寄付いただきました。ご芳志、心より御礼申し上げます。いただきましたご寄付は協会の事業運営に善用させていただきます。(敬称略・順不同)

2025 年 1 次 (1 月 1 日から 7 月 31 日)

100,000 円	金谷 誠一郎	森 宏之	前野 正子	山崎 悦宏	柚岡 一明	瀧沢 敬三
宮地 剛	川田 篤	関谷 勝浩	松田 奉博	岩越 則夫	清水 健一郎	梁井 秀雄
(有)近藤建物	北村 馨	柴田 明	松藤 尊文	則満 洋祐	沼澤 康之	増永 純
	庵 美香		三代 道義	加藤 一幸	田部井 欣司	
50,000 円	榎本 匡邦	3,000 円	宮内 大輔	清水 佳代子	歌田 浩子	1,000 円
匿名 1 名		明石 真和	茂木 孝一	高橋 忠夫	角田 美幸	藤本 悟
	10,000 円	古庄 俊子	中川 巖	児玉 恵仁	竹井 豊	神谷 善弘
30,000 円	木田 宏海	羽山 誠司	根木 大助	新井 俊三	田丸 忠男	小西 紀子
花井 陽子	辰 紘	早瀬 勇	西浦 啓子	酒井 るみ子	亘理 康之	鈴木 秀明
	江村 牧人	林 龍代	岡田 裕	内藤 隆雅	曾根 智義	槁本 行枝
23,000 円		平松 龍文	岡島 偉子	大町 明	久保田 隆	飯島 里美
石田 陽子	8,000 円	堀口 靖之	大久保 明	上野 弥生	平井 東幸	西山 亜紀
池田 篤夫	田中 正昭	堀田 博司	小澤 昭一	賀久 哲郎	小野 和美	竹内 優
中谷 信嗣		井上 壽博	笹木 薫	中路 正浩	仲村 なつ美	
	6,000 円	鹿村 洋人	佐藤 勝彦	齋藤 勝義	関根 寿樹	500 円
20,000 円	村主 登	金子 三千子	椎名 猛	桑原 純子	阿川 健志	渡邊 春洋
恵谷 英雄		古池 好	鈴木 庸夫	吉田 香代子	佐生 博保	
佐藤 浩通	5,000 円	駒井 隆富	田中 章子	相川 美子	石橋 啓人	
	磯田 昇	今田 誠司	丹治 誠	中越 健之		
13,000 円	辻 裕光	小谷 津博一	對馬 節子	内田 有美	2,000 円	
出原 悠	斎藤 淳司	黒川 剛	山崎 加津子	前古 みね子	木村 恭子	

ご寄付やご遺贈は協会活動の礎となり、日独交流と次世代育成を支えます。皆様のお力添えをお願いします。

キャリア形成セミナー（実践編）ご案内

日独協会では、これまでドイツでの就労に関するキャリアセミナーを開催してまいりました。会員の皆さまにとって「ドイツでの仕事やキャリア形成」は大きな関心事のひとつです。

今回は、実際にセミナー受講をきっかけにドイツでの就労を実現された中村奈々海さんを講師にお迎えし、ご自身の経験をお話いただきます。実例をもとにした内容ですので、役立つヒントが得られるはずです。

セミナー終了後には懇親会も予定。個別に相談いただくことも可能です。また、ベルリンで現地企業に勤務している所 親宏（ところ ちかひろ）さんもオンラインで参加予定です。

講師：

中村奈々海さん（ミュンヘン在住・日本企業勤務）

主なテーマ：

- ・ドイツでの就職・転職の方法
- ・各種ビザについて（ワーホリ、語学、就労、チャンスビザなど）
- ・日本とドイツの労働環境の違い

開催概要：

日時：10 月 18 日(土) 15:00～17:00

会場：(公財)日独協会事務所（新宿区信濃町）

対象：日独協会会員

※ 10 月中に入会予定の方もご参加いただけます。

定員：先着 20 名（要申込）

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

問合せ：(公財)日独協会 事務局

E-mail: jdg@jdg.or.jp

表紙のクロスワードの答え

Lösungen zum Kreuzworträtsel auf dem Titelblatt

